

平成27年度

みやこ ユニバーサル デザイン賞

じゅ しょう さく ひん しゅう
受賞作品集



ユニバーサルデザインとは

「すべての人のためのデザイン」と言われ、年齢、性別、国籍、能力など、様々な特性や違いを超えて、できる限りすべての人が利用しやすいようにまちづくりやものづくり、情報やサービスの提供を行っていかうとする考え方のこと。



京都市
CITY OF KYOTO

～いろいろな人の立場に立って考えよう～



みやこユニバーサルデザイン賞

大賞

大賞

しゃべる調味料入れ

みやざき まい
宮崎 真衣 立命館小学校・4年

レストランなどで塩やコショウなどを間違えないように、容器を持ち上げると「塩です」「コショウです」とお知らせしてくれる。容器の底にICチップを埋め込んで持ち上げるだけで音声が出るようにし、目の不自由な人が間違えることなく使えるようにする。また、英語の音声も出るようにし、外国の人でも使える。

審査員コメント

身近なことから考えた発想が良い。容器を持ち上げれば音声で知らせてくれるというのは画期的。外国語でのアナウンスもアイデアとして優れている。表現も良い。



大賞

ベビーカーに連結できるショッピングカー

こざき しほ
小崎 史帆 二条中学校・3年

付け外しが簡単で、4箇所でもベビーカーと連結しているので安定性がある。これなら両手で押し、ゆっくりと買い物ができると思う。

審査員コメント

中学生とは思えない気づきを作品にされた。乳児さんだけでなく幼児さんでもショッピングカートに移すのはなかなか大変。ましてや寝ていると買い物を含めようとするお母さんもいると思う。



テーマ 生活の中のユニバーサルデザイン ～いろいろな人の立場に立って考えよう～



安心ピカピカくん

あんどろ そら
安藤 颯空 向島南小学校・4年

口で今日のスケジュールを言うと、コピーしてその時間に言ってくれる。耳が聞こえない人はこれを見ると顔で表現してくれる。心臓のあたりに付けると倒れたときや心臓が止まったら病院に電話をしてくれる。体のどこにでも貼り付けられる。

審査員コメント

視覚、聴覚、心臓等、様々な障害に対応できるよう工夫した点を評価した。小学生らしい発想でかわいい作品だと思う。



これは1日のスケジュールを口で言うとコピーしてその時間に来るべき時刻が聞こえない人はこれを見ると顔で表現してくれる。心臓のあたりに付けると倒れたときや心臓が止まったら病院に電話をしてくれる。体のどこにでも貼り付けられる。
×(じゃがいもをいれたいです)

優秀賞

らくらくショッピング♪

みやま ゆな
美山 夢奈 京都すばる高等学校・2年

買い物カートの前方部分を開くことで楽に移すことができる。更にかごにローラーをつけることによって、少しの力で転がってくれる。ローラーの付いたかごは小さい子どもでも楽にたくさん買い物をすることができる。誰でも楽に買い物を楽しめる。

審査員コメント

商品を入れた買い物かごは結構重いので、確かにあると便利。高齢者に限らず助かる人が多そうだ。



優秀賞

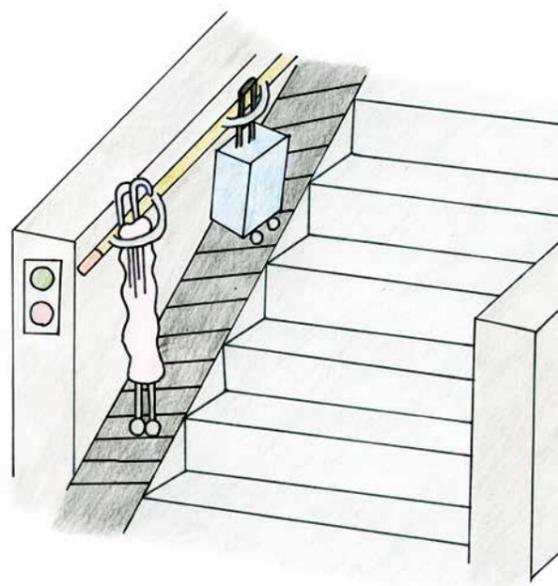
はこベーター

うの こも
宇野 心萌 西京高等学校附属中学校・1年

公共の階段にベルトコンベアを設置し、ベビーカーを固定して上下に運ぶことができる設備である。ベビーカーをベルトコンベアに乗せ、取っ手の部分をワンタッチで固定し、ワンタッチで外せる。また、階段の両サイドにベルトコンベアを付けて上り専用と下り専用を作る。ベビーカーだけでなくスーツケース等大きな荷物も取っ手さえあれば利用が可能。

審査員コメント

駅のエスカレーターなどで若いお母さんがベビーカーを運ぶのに四苦八苦している姿をよく見かける。この方式なら大層負担が軽くなりそう。多くの人が使おうになり普及の促進にもなると思う。



優秀賞

ワンタッチお風呂ふた

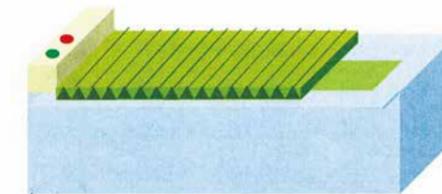
よねと さえ
米戸 彩恵 京都すばる高等学校・2年

自動で開いたり閉まったりすることによって苦勞することなくお風呂を楽しめる。子どもや高齢者、力のない方にも使いやすくなっている。ボタンも大きく、分かりやすくした。

審査員コメント

腰をかがめてする作業が楽になりそう。ボタン1つで巻き取って隅へ寄せてくれれば大助かりである。

ワンタッチお風呂ふた
名前の通り、自動でお風呂のふたが開け閉めできる商品です



◎使用方法
ボタンを押しているかぎり、開けたり、閉めたりできます。

優秀賞

みんなに使いやすいケチャップ

にしおか みう
西岡 実生 南太秦小学校・4年

マヨネーズとケチャップの入れ物を目が見えない人にも違いが分かるようにケチャップのボトルの横にトマトの形を付けて、ボトルの真ん中を押したら、大さじ一杯が蓋のところに溜まって1回分ずつ使える。

審査員コメント

こんなのあったらいいな!と思えるアイデア。ちょっとしたことだが、目が見える人には気づきにくい困りごとを見つけ、簡単な工夫でとても使いやすいようにしている。



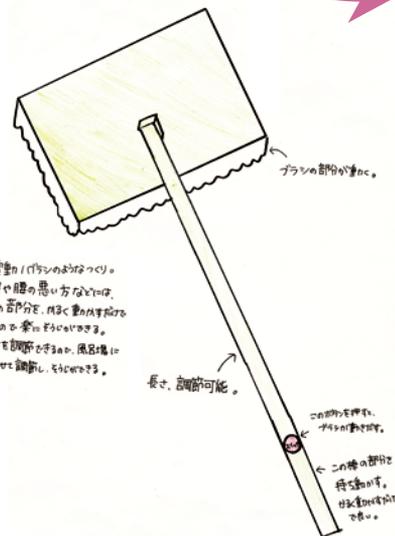
らくらくおそうじブラシ

にしむら さちほ
西村 幸穂 七条中学校・1年

電動ハブラシのようなもので、スイッチを入れるとブラシの部分が動きだし、棒の部分を軽く持ち動かすだけで掃除ができる。棒の部分は長さを調節することが可能。

審査員コメント

お風呂掃除は、体が不自由な方が取りにくい姿勢で掃除しなければならず、足腰が悪い方には難しい作業だということに気づかされた。実用性、応用性のある作品である。



カラーバブル

なかば ちひろ
中場 千尋 京都すばる高等学校・2年

泡に色がついているので子どもでも簡単にお皿洗いやお風呂掃除ができる。色は色覚障害の方でも見える色を使用した。また、一目で洗い流せたか判断できるので、洗い残しを防ぎ、きれいに洗うことができる。

審査員コメント

洗剤の泡そのものに色がついていると目で見て洗えたかどうか分かるので大変便利である。誰もが経験する洗い残しの解決にバッチリ。



みやこユニバーサルデザイン賞とは

京都市では、だれにでも利用しやすいものやサービス等の普及を目指す、ユニバーサルデザインの考え方を多くの皆様に知っていただくとともに、ユニバーサルデザインの取組を促すことを目的として、市内の団体、事業者、学校、個人等のすぐれたアイデアや実践活動を「みやこユニバーサルデザイン賞」として顕彰しています。

今年度は、6月1日(月)から9月4日(金)の期間募集し、京都市みやこユニバーサルデザイン審議会における部会での厳正な審査の結果、みやこユニバーサルデザイン賞を決定いたしました。

■審査員 (五十音順)

氏名	所属・職名等
東 憲昭	京都商工会議所常議員、観光・運輸部会副部長
市村 勝	京都商店連盟副会長
浮守 隆夫	京都市身体障害児者父母の会連合会
田中 美子	市民公募委員
塚田 章	京都市立芸術大学教授〈部会長＝審査委員長〉
直野 信之	京都新聞社会福祉事業団常務理事
中川 貞夫	京都精神保健福祉推進家族会連合会理事
原田 ふたみ	京都YWCA
松田 めぐみ	京都弁護士会・弁護士〈副部長＝副審査委員長〉
宮井 真澄	京都市児童館学童連盟理事

■受賞(応募)概要

9件 (応募件数 561件)



平成27年度みやこユニバーサルデザイン賞の所感

平成27年度みやこユニバーサルデザイン賞には561点の応募がありました。中学生からの応募が455点と大変多く、次いで高校生・一般からは79点、小学生からは27点の応募がありました。応募された児童・生徒の方々に加えその保護者や担当教員の方々にも「みやこユニバーサルデザイン」が広く認知されていると感じます。

今年度の大賞は2点選ばれました。小学生からの提案、「しゃべる調味料入れ」と中学生からの提案「ベビーカーに連結できるショッピングカー」が選ばれました。「しゃべる調味料入れ」は音声で内容物を多言語で伝えるというもので、以前であれば大げさになりかねない内容なのですが、今日の技術では安価に実現可能であり、海外からの観光客が増える中、実現性の高い良い提案であると評価されました。「ベビーカーに連結できるショッピングカー」は生活に関わっての観察から生まれた提案であり、母親を気遣う素直な思いが伝わって、審査に当たった誰もが実現されれば良いのにと納得させられる提案でした。

優秀賞は「安心ピカピカくん」と「はこべーター」と「らくらくショッピング♪」、「ワンタッチお風呂ふた」の4点です。「安心ピカピカくん」は小学生からの提案ですが、生活の日課をガイドしてくれるツールで、スマートフォンの様な器機のイメージを極力抑える配慮がされている素直な提案であることが評価されました。「はこべーター」は中学生からの提案ですが、これもベビーカーに関する提案で、現場に足を運んで観察して得られた提案だと感じます。「らくらくショッピング♪」と「ワンタッチお風呂ふた」は高校生からの提案で、実際に体験した時に得られた実感に基づく提案であり、納得させられるものです。

アイデア賞は「みんなに使いやすいケチャップ」、「らくらくおそうじブラシ」、「カラーバブル」の3点選ばれました。これらは生活に関わった用具の改善提案で、それぞれに使い易さが考えられています。

例年、アイデア商品開発の様な提案が多く見られるのですが、今年度は生活に関わった問題解決という視点がしっかり押さえられていて、みやこユニバーサルデザインの趣旨としては良い方向に向かっていると感じます。

■問い合わせ先

きょうと し ほけんふく しぎょく ほけんふく し そう む か すい しんたんどう
京都市保健福祉局保健福祉総務課 みやこユニバーサルデザイン推進担当

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488

TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940(障害保健福祉推進室内)

Eメール hofukusoumu@city.kyoto.jp

ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051996.html>

みやこユニバーサルトップ

検索

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ!

